

診療情報を集めて行う臨床研究に関するお知らせとお願い

熊本機能病院 総合リハビリテーション部では、「当院回復期リハビリテーション病棟における病棟内歩行自立基準の妥当性についての検討」の研究に取り組んでいます。

研究の概要

2005年に全国回復期リハビリテーション（以下、リハ）協議会医療安全委員会が行った全国多施設間調査（前向き調査）では、回復期リハ病棟で発生する転倒が、全入院患者のうち30.2%（うち脳血管疾患33.8%）に当たると報告しています。

ベッド上安静が多い急性期（病気になりはじめの時期）を脱し、リハビリにより身体活動量が増える回復期リハ病棟では、転倒リスクという避けることのできない重大な課題を抱えています。

転倒リスクを評価するためには歩行能力の評価が必要となりますが、回復期リハ病棟における歩行自立判定評価に確立されたものはなく、各施設でそれぞれ異なる基準が設けられていたり、セラピストの主観的な判断に依存しているのが現状です。セラピスト間での統一、主観的評価のみに依存しない客観性の確保、さらに他部門・他施設との共通認識の側面からも基準となる歩行自立判定は必要と考えます。

そこで、2021年3月から熊本機能病院で病棟歩行自立の可否を決定する際に使用している歩行自立基準の導入効果を、自立判定後の転倒状況と先行研究より検討することを目的としました。

対象となる方

2021年4月1日から2022年3月31日までの期間に当院回復期リハ病棟に入院されていた患者さんの内、歩行自立基準を適用した患者さん

研究期間

2022年5月2日 ～ 2025年5月1日

利用する診療情報

年齢、性別、疾患名、発症・受傷日、入院日（回リ八病棟入棟日）、退院日、入院時と退院時における移動手段、歩行自立時のSTRATIFY、Berg Balance Scale（BBS）、10m歩行テスト、Subset of Functional Balance Scale ・Stops Walking When Talking test（F&S）、Functional Independence Measure（FIM）認知項目、歩行自立アセスメントシート結果、病棟内歩行自立日

研究機関の名称：熊本機能病院 総合リハビリテーション部

研究責任者氏名：三宮克彦

個人情報の取扱いについて

診療情報の利用に関しては、個人情報は全て匿名化されてから解析されますので個人情報が漏れることはありません。また研究結果は、学術雑誌や学会等での発表に使用させて頂くことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。

上記の研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき実施しております。この研究にあなたの診療情報が利用されることに同意できない場合は対象と致しませんので、お手数ですが下記のお問い合わせ先にご連絡ください。また、ご不明な点があるとき、または研究計画等に関する資料をお知りになりたい場合は他の対象者の個人情報や研究全体に支障となる事以外はお知らせすることができますので、ご連絡ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用

させていただくことに対して同意が得られたものとさせていただきます。また、研究にご協力いただけない場合でも診療上の不利益を被ることはありません。

お問い合わせ先

熊本機能病院 総合リハビリテーション部 理学療法課 森義貴

T E L : 096-345-8111(内線 2563)、 F A X : 096-345-8188